

教科	地理歴史	科目	地理総合
履修条件 対象生徒	必履修 デザイン科 2学年		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図やGISを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を習得する。 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用などに着目して概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けた構想を描く。 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。また、日本国民としての自覚、国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重することの大切さを自覚する。 		
学習方法	<p>[授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業では、教科書（二宮書店）の学習内容について、具体的な理解が深まるように身近な題材を適宜取り上げていく。 現代社会に生きる私たちの在り方や生き方についての意識を高めさせていく。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容の定着や学力の向上を図るため、時事問題についての新聞記事やニュース番組に接する機会を増やしていく。 <p>[補習・その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースなどで日々伝えられる世界各地や国内の出来事や動きに興味・関心を持つ ことを促し、そういったものを教科書の学習内容と関連付けながら時事問題として 取り上げていく。 		
学習計画 と ねらい	<p><1学期末考査まで></p> <p>1章 地図とGISの活用</p> <p>1節 球面上の世界</p> <p>2節 国家の領域と領土問題</p> <p>3節 国内や国家間の結びつき</p> <p>4節 日常生活のさまざまな地図</p> <p>2章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>1節 自然環境と生活文化</p> <p>2節 産業の発達と生活文化</p> <p><2学期末考査まで></p> <p>3節 言語・宗教と生活文化</p> <p>4節 グローバル化の進展と生活文化</p> <p>3章 地球的課題と国際協力</p> <p>1節 人口・食料問題</p> <p>2節 居住・都市問題</p> <p><学年末考査まで></p> <p>3節 資源・エネルギー問題</p> <p>4節 地球環境問題</p> <p>4章 生活圏の諸課題</p> <p>1節 自然環境と防災</p> <p>2節 持続可能な地域づくり</p>		
評価規準	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付ける取組を行い、また、自らの学習を調整しようとしている。 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などが深まっている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題および提出物を総合的に判断して評価します。		